

感性を育む 修学旅行の 展開手法

全国修学旅行研究協会

修学旅行は、学校行事として大切なカリキュラムの一端である。集団行動の行事として、平素とは異なる環境で、集団行動を通して、人間的な融合や社会的育成を図るなどの目的を達成しなければならない。その意味から考えても、修学旅行は「活用型の学習」の集大成と言える。目下の生活と異なる未知なる自

中学校の 修学旅行 実施状況と教科などのかかわり方

08年度調査報告書から

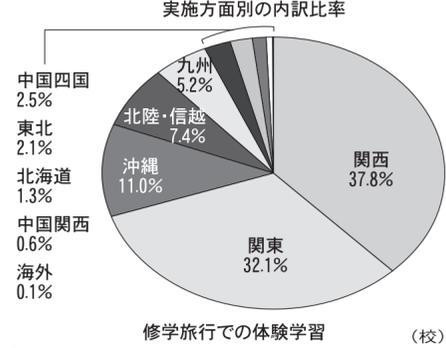
◆実施の状況
ほとんどの学校で修学旅行が実施されている。「実施しなかった」と回答した学校のうち、東海地区の一部では修学旅行の7、8日間を海外研修に代わるプランとして海外研修を行っている。関東地区では修学旅行を実施していない学校もある。

◆実施の時期
93%近い学校が春季に実施している。中でも5月、6月にその84%が集中している。次いで冬季の実施が4.6%、秋季の実施が2.4%であった。冬季の実施は第2学年で行われている。

◆実施日数
ほとんどの学校が2泊3日で行っている。東海地区は、伊豆、箱根、富士と東

◆実施の時期
93%近い学校が春季に実施している。中でも5月、6月にその84%が集中している。次いで冬季の実施が4.6%、秋季の実施が2.4%であった。冬季の実施は第2学年で行われている。

| 実施方面 | 関東 | 東海 | 近畿 | 計 |
|-------------|-------|-----|-----|-------|
| 北海道 | | | 38 | 38 |
| 東北(会津、日光含む) | 64 | | | 64 |
| 関東・富士・伊豆 | 3 | 587 | 368 | 958 |
| 北陸・信州・信越 | 74 | 8 | 138 | 220 |
| 関西 | 1,099 | 29 | | 1,128 |
| 中国・四国 | | 57 | 18 | 75 |
| 中国・関西 | 19 | | | 19 |
| 九州 | | 20 | 135 | 155 |
| 沖縄 | | 1 | 28 | 29 |
| 海外 | | 2 | | 2 |
| その他・未記入 | | 7 | 2 | 9 |
| 合計 | 1,262 | 736 | 999 | 2,997 |



| | 関東 | 東海 | 近畿 | 計 |
|-----------|-------|-----|-----|-------|
| 取り入れた | 1,019 | 556 | 846 | 2,421 |
| 取り入れなかった | 90 | 171 | 36 | 297 |
| 今後は取り入れたい | 130 | 9 | 102 | 241 |
| 未記入 | 23 | | 15 | 28 |
| 合計 | 1,262 | 736 | 999 | 2,997 |

◆かかわりをもたせた教科
最もかかわりをもたせた教科は3地区とも、社会科が圧倒的に多く、次いで、国語となつている。社会と国語を合わせた割合となり、他教科を圧倒している。伝統文化や芸術との関連から、習字もそれぞれの地域に合った内容になっている。キャリア学習に関しては、4年の間、地域の中学生が京都で生きた英語を楽しく学んでいることも数字から伺える。修学旅行を通して、合唱曲作りに取り組んだり、自然観察や環境学習に取り組み様子もみられた。

「体験」は9割で実施 関連付け社会と国語が中心に

| | 関東 | 東海 | 近畿 | 計 |
|-----------|-------|-----|-----|-------|
| かかわりを持たせた | 1,201 | 331 | 928 | 2,460 |
| 持たせなかった | 30 | 2 | 50 | 82 |
| 未記入 | | | 21 | 21 |
| 合計 | 1,231 | 333 | 999 | 2,563 |

| | 関東 | 東海 | 近畿 | 計 |
|-----------|-------|-----|-------|-------|
| 教科 | 680 | 316 | 420 | 1,416 |
| 道徳 | 123 | 62 | 252 | 437 |
| 総合的な学習の時間 | 1,138 | 317 | 816 | 2,271 |
| 特別活動 | 383 | 84 | 310 | 777 |
| その他 | 6 | 2 | 1 | 9 |
| 合計 | 2,330 | 781 | 1,799 | 4,910 |

| | 関東 | 東海 | 近畿 | 計 |
|-------|-------|-----|-----|-------|
| 国語 | 300 | 38 | 89 | 427 |
| 数学 | 4 | 2 | | 6 |
| 社会 | 554 | 155 | 374 | 1,083 |
| 理科 | 22 | 22 | 68 | 112 |
| 英語 | 178 | 18 | 22 | 218 |
| 音楽 | 32 | 37 | 46 | 115 |
| 美術 | 249 | 21 | 20 | 290 |
| 保健・体育 | 4 | 10 | 41 | 55 |
| 技術・家庭 | 5 | 13 | 17 | 35 |
| 特別活動 | | | 1 | 1 |
| 合計 | 1,348 | 316 | 678 | 2,342 |

| | 関東 | 東海 | 近畿 | 計 |
|-------------|-------|-----|-----|-------|
| 国際理解学習 | 240 | 91 | 159 | 490 |
| 情報学習 | 230 | 79 | 137 | 446 |
| 環境学習 | 81 | 60 | 157 | 298 |
| 奉仕・ボランティア活動 | 33 | 41 | 14 | 88 |
| 福祉・健康学習 | 14 | 34 | 5 | 83 |
| 農山漁村の学習 | 28 | 24 | 42 | 94 |
| 地域文化の学習 | 607 | 77 | 170 | 854 |
| 地域の産業学習 | 258 | 55 | 17 | 330 |
| 日本の歴史・文化学習 | 909 | 112 | 61 | 1,082 |
| キャリア学習 | 56 | 83 | 11 | 150 |
| その他の学習 | 219 | 85 | 208 | 512 |
| 合計 | 2,675 | 741 | 981 | 4,397 |

修学旅行のデザインへ向けて

Step-1 教育的ニーズの把握
学校それぞれに「生きる力の育成」に向けた経営展開の目標にそって、修学旅行の方向性を設定。それによって活動する子供の姿が描かれる。

Step-2 内容のデザイン
まず「修学旅行共創プロジェクト(仮称)」を立ち上げる。教師・子供のほか修学旅行にかかわる人々を巻き込んだプロジェクトによって、みんなの心の中に共通の価値が生まれる。そのときに必要な作用は——
「価値の伝達」(価値を熱く語ること)
「価値の増幅」(価値を膨らますこと)
「価値の転換」(新たな価値を生むこと)

Step-3 体験の組み立て
「場」と「機会」を想定して、多くの素材をもとに五感を通した質の高い体験を組み立てる。みんなの語り合い、考えあい、夢の描きあいを通じて、共有の喜びが生まれる。(それが、ワクワク・ドキドキを生み出す修学旅行の出発となる)

Step-4 心に残る演出
共に創った修学旅行の展開の中で、互いの結びつきが深まり、思いやりの心が生まれる。また、成果の検証の中で、心こもった体験が交換され、表現力も育つ。これからの教育において、この感性教育は重要なキーワードであり、この体験は、学校の財産として今後とも機能していく。

観光経済新聞がご提案する 「地域経済を拡大させる方程式」

行政+観光産業+地域内産業+住民=観光交流の拡大

観光関連事業者だけの観光産業ではない
地域内の一般産業も観光と無縁ではない
住民ホスピタリティなければ観光地ではない

行政、地域内産業、観光産業、住民参加による 座談会、シンポジウムをとおして観光を見直す

観光資源とは、景勝地や名所旧跡だけではありません。いま、求められているのは、ありのままの日常から得られる共感や感動です。あるいは、日常の衣食住の生産プロセスを自ら確信し、安心することです。そうした地域や場所が、観光客を呼び込み、地域経済が拡大します。

第1歩は、新たな観光資源づくりに向けた地域一体のコンセンサスです。それは、4者が同じテーブルについて対話することから始まります。

観光経済新聞におまかせください

永年、全国で観光地活性化座談会を展開した実績は、比類ないものです。座談会やシンポジウムの実施をとおして地域にふさわしい方向性を導き出すお手伝いをします。

お問合わせ 観光経済新聞社・産業観光活性化支援室
TEL03-3827-9800 E-mail:info@kankokeizai.com